



平成24年11月20日

特殊災害対策車（偵察車）が運用を開始

～台湾からの義援金1億円を活用して新たな消防車両を作製～

東日本大震災における当庁の活動を知り、平成23年4月1日に台湾の中国信託慈善基金会から、義援金として1億円の寄付がありました。当庁はこの寄付金を活用して新たに特殊災害対策車（偵察車）*を作製し、第三消防方面本部消防救助機動部隊（ハイパーレスキュー隊）において運用を開始することとなりました。

運用を開始するにあたり、寄付をいただいた中国信託慈善基金会からご来賓をお招きし、運用開始式を実施いたします。

※ 詳細は別紙を参照してください

1 日時

平成24年11月22日（木） 9時30分より

2 場所

第三消防方面本部消防救助機動部隊隊舎（別図参照）
渋谷区幡ヶ谷一丁目13番20号

3 出席者

(1) 来賓

ア 中国信託商業銀行

日本事業部本部長 蕭 仲謀（シャオ チュンマオ）

東京支店副支店長 ロバート バスコンセロス

イ 台北駐日経済文化代表處

経済部課長 何 天賜（カー テンチョウ）

業務部課長補佐 陳 盈如（チン インル）

(2) 当庁

次長 大江 秀敏（おおえ ひでとし）

第三消防方面本部長 千葉 孝之（ちば たかゆき）

特殊災害課長 吉田 義実（よしだ よしみ）

第三消防方面本部救助機動課長 福永 輝繁（ふくなが てるしげ）

4 タイムスケジュール

時間	内容	備考
9時30分	開式	
9時30分	車両紹介	
9時33分	来賓紹介	
9時37分	次長挨拶	
9時40分	第三消防方面本部長訓示	
9時43分	車両キー授与	第三消防方面本部長から第三消防方面本部消防救助機動部隊部隊長へ
9時48分	訓練披露	想定：放射性物質を搬送中のトラックが交通事故を起こし、放射性物質と化学物質が漏えいしている。
9時58分	車両説明	
10時08分	記念撮影	

※ タイムスケジュールについては、変更となる場合がございますので、ご了承ください。

5 取材について

- (1) 取材を希望される場合は、11月21日15時00分までに広報課報道係までご連絡ください。
- (2) 取材時は必ず自社腕章を着用してください。
- (3) 報道機関向けの事前レクチャーを9時15分から行いますので、それまでに受付を済ませてください。（別図参照）
- (4) 駐車場はありませんので、あらかじめご了承ください。

問合せ先

〔東京消防庁(代) 電話 3212 - 2111〕
〔広報課報道係 内線 2345～2349〕



別 紙

1 主な性能等

この車両は、NBC災害現場において隊員が車外に出ることなく偵察活動を行うことが可能です。

- (1) 気密性を向上した陽圧式ボデーと空気浄化装置を装備しているため、車外の空気を取り入れて浄化するとともに、運転室及び操作室の区画を加圧することが可能です。
- (2) 車内から遠隔操作することができるロボット昇降装置を装備しているため、隊員が車外に出ることなく車内からロボット（検知型遠隔探査装置）を降ろし、遠隔操作をすることが可能です。
- (3) 超音波風向風速計をボデー屋根上に装備し、正確な風向及び風速の測定が可能です。
- (4) 外部空気を車内の赤外線分析装置等に取り込むことができるため、隊員が車外に出ることなく災害現場の環境情報を収集することが可能です。
- (5) 車両の前後左右に装備された監視カメラで、車外の状況を把握することが可能です。

2 写真



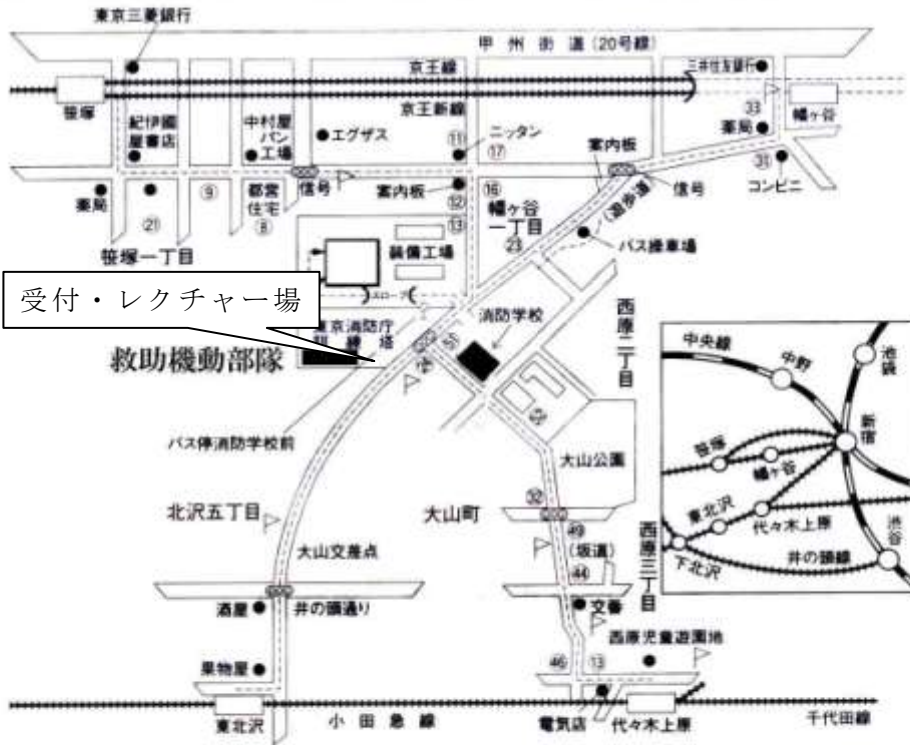
全長	約 6.3m
全幅	約 2.2m
全高	約 2.6m
車両総重量	約 6,750 k g
乗車定員	6 名



別 図

〈交通機関〉

- 新宿駅 (京王線) 笹塚駅 (徒歩10分) 救助機動部隊
- 新宿駅 (京王新線) 幡ヶ谷駅 (徒歩10分) 救助機動部隊
- 地下鉄・千代田線及び小田急線「代々木上原駅」から徒歩12分
- 渋谷駅 (井の頭線) 下北沢駅 (小田急線) 東北沢駅 (徒歩12分) 救助機動部隊



受付・レクチャー場

